

科目名 (Subject)	ミクロ経済学Ⅱ Microeconomics II		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	後 期
担当教員名 (Name)	白田 康洋 SHIRATA, Yasuhiro	研究室番号 (Office)	543
Office Hours	TBA		
<p><b>1. 授業目的・方法 (Course objective and method)</b>  <b>目的:</b> 大学院初級レベルでのミクロ経済学の理解  本科目は、前期での「ミクロ経済学 I (Microeconomics I)」に基づき、発展的な内容となる一般均衡分析、厚生経済学、ゲーム理論、及び情報の経済分析を講義する。  どのような社会経済においても資源は稀少である。本科目では、その資源が、経済活動の中でどのような配分が実現するのか、また、実現されるべきかを考察する。前半は、これらの資源配分と所得分配の問題を市場メカニズムにより分析し、後半は、それらの問題をゲーム理論により分析する。  <b>方法:</b> 担当教員による講義と受講生による発表  トピックごとに教科書に沿った Lecture Notes を使って基本的な内容を講義した後、受講生にはいくつかの Exercise に取り組んで発表してもらう。</p> <p><b>2. 授業内容 (Course contents)</b>  以下のトピックを順に講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション, 消費者理論の復習 (Week 1)</li> <li>2. 一般均衡理論, 厚生経済学 (Week 2-5) <ul style="list-style-type: none"> <li>- パレート効率性, ワルラス均衡, コア</li> <li>- 厚生経済学の基本定理</li> <li>- 動学的一般均衡入門, 不確実性</li> </ul> </li> <li>3. 社会選択・社会厚生 of 理論 (Week 6-8) <ul style="list-style-type: none"> <li>- 定式化, コンドルセ・パラドックス</li> <li>- アローの一般不可能性定理とその関連</li> <li>- 市場経済への応用</li> </ul> </li> <li>4. ゲーム理論 (Week 9-11) <ul style="list-style-type: none"> <li>- 展開形ゲーム, 戦略形ゲームの定義</li> <li>- 支配戦略, 合理化可能戦略</li> <li>- ナッシュ均衡, サブゲーム完全均衡</li> </ul> </li> <li>5. 市場の失敗: 不完全競争 (Week 12) <ul style="list-style-type: none"> <li>- 独占, 寡占</li> </ul> </li> <li>6. 市場の失敗: 不完備情報 (Week 13-14) <ul style="list-style-type: none"> <li>- マーケットデザイン</li> <li>- ヴィッカーリー・クラーク・グロブスメカニズム</li> </ul> </li> <li>7. まとめと予備 (Week 15)</li> </ol> <p><b>3. 使用教材 (Teaching materials)</b>  メインテキストは以下の [JR] を使用。 [MWG], [OR] は参考書。  [JR] G.A. Jehle &amp; P. J. Reny; <i>Advanced Microeconomic Theory</i>, 3rd ed, Prentice Hall, 2010.  [MWG] A. Mas-Colell, M. D. Whinston, &amp; Jerry R. Green; <i>Microeconomic Theory</i>, Oxford University Press, 1995.  [OR] M. J. Osborne &amp; A. Rubinstein; <i>A Course in Game Theory</i>, MIT Press, 1994.</p> <p><b>4. 成績評価の方法 (Grading)</b>  期末試験(60%)と宿題・発表(40%)によって評価する。</p> <p><b>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)</b>  経済学コース成績評価統一基準を参照。</p> <p><b>6. 履修上の注意事項 (Remarks)</b>  前期開講「ミクロ経済学 I」の知識を前提とするので必ず履修すること。「ミクロ経済学 I」の単位未取得者の履修は認めない。基本的な集合論, 線形代数と微積の知識があるとより望ましい。</p>			